



2026年5月11日

各位

会社名 株式会社ハーバー研究所
代表者名 代表取締役社長 西 幹男
(コード番号 4925)
問合せ先 取締役財務・経理部担当 高崎明彦
(TEL. 03-5296-6250)

2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2025年5月9日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想数値と本日開示の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、本業績予想の差異に伴う1株当たり年間配当予想40円の変更は予定しておりません。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,550	500	490	480	126.93
今回実績 (B)	12,141	727	708	760	201.07
増減額 (B-A)	△409	227	218	280	
増減率 (%)	△3.3%	45.4%	44.5%	58.3%	
(参考) 前期連結実績 (2025年3月期)	12,061	589	608	576	152.47

2. 差異の理由

2026年3月期通期連結業績につきましては、売上高は一部販売チャネルにおける事業環境の変化等の影響を受け、前回予想数値を下回りました。一方、営業利益及び経常利益につきましては、店舗網の最適化や販管費の見直しに加え、広告宣伝費及び販売促進費について投資効率を重視した運用を徹底し、費用対効果の高い施策へ選択的に投資を行ったことにより、前回予想数値を上回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記のとおり営業利益及び経常利益が前回予想数値を上回ったほか、2025年12月17日付「連結子会社における固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、固定資産の有効活用及び経営資源の集中並びに財務体質の強化を目的として、連結子会社が保有する小諸工場を売却し特別利益を計上したことにより、前回予想数値を上回りました。

今後も経営効率の改善とコスト構造の改革を継続し、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

以上